

奥武蔵・丸山 山行報告書

(L) 伊藤

2月17日(日) 西武秩父の手前、芦ヶ久保駅に9時30分集合です。

今日は比較的暖かく、駅は意外に人々で賑わっています。大部分はあしがくぼの氷柱が目で、我々も行き掛けの駄賃?と、そちらへ向かい、10分程で着きます。あしがくぼの氷柱は秩父三大氷柱の一つで、環境整備協力金として300円おさめ、会場?に入ります。色々な形のさまざまな氷の柱が密集林立して、結構見応えがあります(写真)。氷の世界に浸り他の人々と同様、のんびりと見て回っていると、あらら、もう一時間も経ってしまいました。

さあ、これからが本番です。駅に戻り白鬘神社脇から丸山へ向かいます。かなり回りくねった舗装道路を歩き、やがて登山道に入りますが周りの杉の木は花粉をたわねに突らせています。強い風が吹くと・・・もともと静かな山ですが、季節がらか、縦走路はほとんど登山者に合わず、美しい広葉樹の林の中の山行を楽しみます。なんだか涼しいと感じた頃、雪も見られはじめ、地表は冷たく固まっています。自然林を登り詰めると山頂です。奥武蔵のと真ん中、丸山山頂(960m)のコンクリート製展望台の上からは360度の大展望です。特に武甲山は目の前です。もう13時半で遅い昼食をのんびりと食べていたのですが、風が冷たく、寒い～という皆の声もあり、急いで下山します。自然林の雰囲気気分を良くさせる所です。やがてパラグライダーの離陸場を見ながら、大野峠-赤谷へと一気にくだります。そして舗装道路から芦ヶ久保駅へと戻ります。

駅から西武鉄道の池袋直通電車に上手く乗れたのですが、何故か皆さんは飯能駅で途中下車です。一生懸命歩いたので喉が渴いたとの事、飯能の食事処で反省会となってしまったのでした。

山を愛する者は、何故かアルコールも愛している様です。

('19, 2. 17記)



あしがくぼの氷柱



丸山山頂からの武甲山